



安積二小だより

創立 150 周年 「花と緑と思いやり ひとみ輝く 二小の子」

郡山市立安積第二小学校
学校便り No. 5
令和 7 年 5 月 7 日
文責：校長 齋藤和彦

子どもは、育っています



毎朝の登校にて、子どもが確かに育っていることを感じる光景に出会います。

◇ 今日は大丈夫！お母さんとさよならして..教室に向かうランドセルの後ろ姿が光ってる！

◇ 「ここでいいよ！」降車～昇降口まで送ろうとするお父さんに娘さんの“このひと言”

◇ うつむき加減に歩く黄色い帽子の 1 年生を何度も振り返りながら..決して離れずにゆっくりと先を歩いてくる 6 年生の班長さん。どれも、子どもが確かに育っている姿です。

友だちとの関係や学校での自分の立場を“自分の判断で優先させる”こんなことができるように育っていること、こんな関係性の広がりがあることを喜びましょう。

『子の親離れ』と『親の子離れ』のタイミングも大切です。

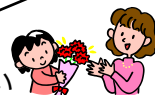
「この子は大丈夫」と思えるまで我が子の自ら育つ力を信頼して..



低学年は 『手を』 かけて..
中学年は 『目を』 かけて..
高学年は 『心を』 かけて..

～母の日によせて～

数年前の家庭教育学級にて..



◇ 親が子どもをほめるとき..
外国では、「がんばったね！」
～そして、“ハグ”して終しまい
日本では、「がんばったね！」
～そして、「次は、こうすると もっと..」

□ 日本人の生真面目さ？子どもが「ほめられた感」に浸る間もつかの間..次の課題や期待過多..となっていないですか？

◇ 昔の肝っ玉かあさんは、子どもに何か不安や心配ごとを感じても、
『だいじょうぶ！だって、あなたは、お母さんの子なんだから！』と、豪快な（笑）
→ 何だかよくわからない安心感のシャワーを浴びて、子どもはたくましく育っていく。
→ 肝っ玉かあさんを演じる母親の多くは、子の寝顔をしげしげと見てから床に入る。

□ 今の時代は、何かと理由を付け..あなたは悪くないと庇い..物を買ひ与え..子どもを満足させる繕いになっている。
「昔と今は違う」と言うかもしれない。でも、昔のそれに学ぶところも大きい。

◆◆ 校長室より ◆◆ 「運動会のおもいで」



ぼくは、初めて運動会の係：体育主任になりました。もう 35 年も前の記憶です。

全体練習の仕方もよく分からなかったけれど、とにかく一生懸命やりました。（当時は行進練習があった）
「そんな指示ではダメだ！」子どもや先生方の前で、校庭のド真ん中で、何度もなんども教頭先生に注意され（指導され）ながら...なんとか運動会前日に漕ぎつけ、前日準備終了。明日の予報は「雨」。

当日の朝、教頭先生は、朝 4 時前に、ぼくのアパートの戸を叩きました。

「齋藤さん行くぞ！早く車に乗れ！今日の運動会は、絶対やるからな！」（教頭先生の車で学校へ）
学校につくと、土砂降りの校庭には、川が何本も流れています。絶望的な光景でした。

教頭先生は、「教室中の雑巾を校庭に落とせ！」二人で雑巾を校庭に貼り付け、バケツを何十個も置き、親指の皮がむけるほど雑巾を絞り続けました。体育部集合時刻前に先生方も続々集まりました。

近所の保護者が、寝ていたマットレスのスポンジを裂いて持って来てくれました。6 年生が親に連れられて 3 人..5 人..と増えてきました。6 時前だというのに、保護者のお母さん達が、おにぎりを山ほど持って来てくれました。（運動会用のお弁当だったことは、後で知りました。）

宇津峰山の上にかかる雲が明るくなってくると、教頭先生は得意気でした。

1 時間ほど遅れて開会の花火が打ち上げられました。指揮台の上から目にする...入場行進の先頭を歩く 6 年生のどろんこの運動着や運動靴がまぶしいほどにかっこよかったことを忘れません。

PTA の父ちゃんたちと一緒に、女の先生方もぬかるみに砂入れをし続けながら、子どもの演技種目は全て実施できました。終了後、職員室での体育主任挨拶は、泣けてきて言葉になりませんでした。教頭先生は、タバコを吸いにか...黙って職員室を出て行きました。（教頭先生には今も感謝がありません）

ぼくは、運動会が近づくと、この学校で一緒に仕事をした先生方（子ども・保護者）を思い出します。もうすぐ、安積二小の運動会です。きっと、みんながんばります。力の限りがんばった自分！

友だちを応援し続けた自分！係活動をやり遂げた自分！268 人の安積二小の子の...それぞれの胸に、「それぞれの 1 等賞」が輝く、すてきな運動会になったらいいですね。

（やっぱり運動会は、☀晴れるといいなあ...）

